

平成 30 年播種（平成 31 年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔4 月 10 日調査結果〕

1. 供試品種および耕種概要(中甸区・下甸区共通)

供試品種	早 生	中 生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小 麦		シラネコムギ
		夏 黄 金

(中甸区)

- ・播種期：10 月 18 日
- ・播種量：0.9 kg/a(ドリル播き, 条間 25 cm)
- ・施肥：尿素磷加安 777 号
(N : 0.8 kg/a, P205 : 0.8 kg/a, K20 : 0.8 kg/a)

(下甸区)

- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6 kg/a
- ・排水対策：暗渠および弾丸暗渠
(ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔)
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換 4 年目(前作大豆)
- ・播種期：10 月 29 日
- ・播種量：1.0 kg/a(ドリル播き, 条間 25 cm)
- ・施肥：(中甸区と同じ)

2. 気象概況〔3 月～4 月上旬〕(表 1, 図 1)

- ・平均気温は、期間前半は高温傾向で推移したが、期間後半は低温傾向となった。
- ・降水量は 3 月上旬と 4 月上旬が平年より少なかったが、3 月 13 日～14 日、3 月 30 日～4 月 1 日、4 月 11 日にまとまった降雪と一時的な積雪を記録し、3 月中～下旬の降水量は平年より多かった。
- ・日照時間は、期間前半は多照、期間後半は概ね平年並となった。

表 1 気象経過(3 月～4 月上旬) 古川 AMeDAS

	平均気温		積算降水量		積算日照時間	
	本年(°C)	平年差(°C)	本年(mm)	平年比(%)	本年(hr)	平年比(%)
3 月上旬	5.2	3.2	11.5	61	61.7	119
3 月中旬	5.4	1.8	26.0	114	64.1	111
3 月下旬	4.3	-0.5	28.5	112	58.2	97
4 月上旬	5.6	-1.9	13.5	59	66.6	102

注1) 気象庁: 古川 AMeDAS データから引用

注2) 平年差(比)は古川 AMeDAS 平年値データとの比較

3. 生育概況

1) 4 月 10 日現在の生育状況 (表 2)

- ・中甸区は、「シュンライ」の草丈が平年より短く、「ミノリムギ」と小麦の草丈は平年より長かった。茎数と葉数は大麦・小麦ともに平年より多かった。
- ・下甸区の生育量は中甸区と比較して、草丈が 7～8 割、茎数は概ね同等、葉数が 8 割、幼穂長は 6 割程度の生育量となった。

2) 幼穂分化状況 (表 2)

- ・中甸区の幼穂長は、大麦が約 8 mm, 小麦が約 4 mm で、「シュンライ」が平年よりやや短かった他は平年値を上回った。
- ・下甸区の幼穂長は、大麦が 4～5mm, 小麦は約 2 mm であった。
- ・大麦, 小麦ともに平年よりやや早く茎立期に達したと推定される。

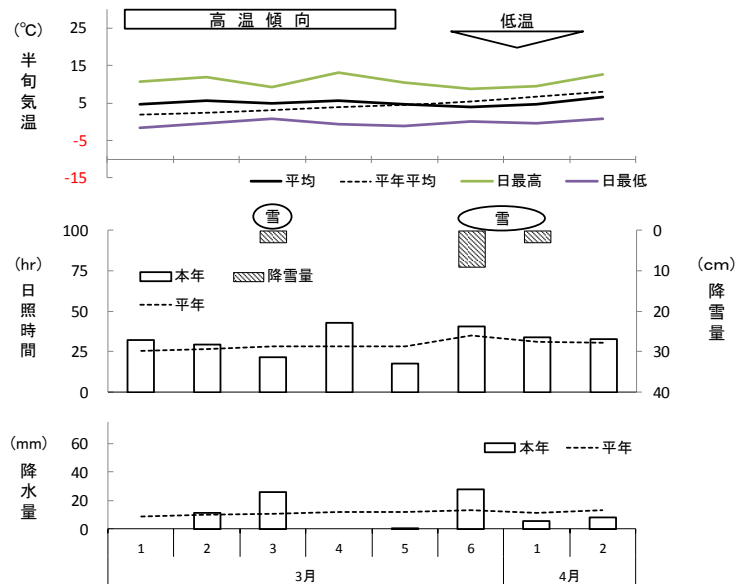


図 1 気象経過 古川 AMeDAS

表2 生育状況(4月10日現在)

区分	品種	月/旬	草丈			茎数			葉数		
			本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
大 麦	シュンライ	10月中旬	19.7	109	84	1245	192	150	9.4	0.4	0.2
		10月下旬	16.3	110	-	1273	204	-	8.2	0.5	-
	ミノムギ	10月中旬	22.8	108	101	1280	144	134	9.6	0.8	0.5
		10月下旬	19.0	113	-	1294	188	-	8.5	1.4	-
小 麦	シラネコムギ	10月中旬	30.3	157	131	1147	157	129	9.5	1.0	0.7
		10月下旬	23.2	146	-	1377	192	-	7.9	0.4	-
	夏黄金	10月中旬	26.7	157	-	1444	192	-	9.1	0.4	-
		10月下旬	17.1	124	-	1337	293	-	7.6	0.5	-

表3 生育状況(4月10日調査)

区分	品種	月/旬	幼穂長			幼穂 分化 程度	幼穂形成始期			茎立期		出穂期	
			本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)		本年 (月/日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月/日)	平年 (月/日)	本年 (月/日)	平年 (月/日)
大 麦	シュンライ	10月中旬	8.8	0.9	-0.6	X	12/28	-66	-44	3/26	4/3	5/1	4/29
		10月下旬	5.2	2.3	-	X	3/1	-14	-	-	-	5/4	-
	ミノムギ	10月中旬	8.1	3.8	2.1	X	2/4	-38	-18	3/25	4/7	5/4	5/3
		10月下旬	4.4	1.4	-	X	3/5	-11	-	-	-	5/5	-
小 麦	シラネコムギ	10月中旬	4.0	1.8	0.9	X	3/6	-21	-12	4/5	4/11	5/8	5/9
		10月下旬	2.7	1.1	-	IX	3/16	-15	-	-	-	-	-
	夏黄金	10月中旬	4.2	1.9	-	X	3/13	-13	-	4/7	-	-	-
		10月下旬	2.5	0.4	-	IX	3/20	-11	-	-	-	-	-

注1) 10月中旬播種の平年比(差)は、前年及び平成25年播種を除く過去6か年中の中庸4か年の平均値との比較。

注2) 10月下旬区は平成29年播種から、「夏黄金」の10月中旬播種は平成28年播種から供試のため、平年値はない。

注3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

注4) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注5) 出穂期の本年は、令和元年5月8日現在。

表3 [参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

区 分	苞分化期		小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VI	VII	VIII	IX	X	
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0		
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0		

注) 幼穂分化程度はI~Xの10期に区分されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。

厳密にはVII期は「前・後期」に、IX期は「前・中・後期」に区分される。

平成 30 年播種(平成 31 年産)麦類生育調査ほ生育状況[4 月 10 日調査結果]

表 4 平成 30 年播種(平成 31 年産)麦類 生育調査ほ 耕種概要

担当普及 センター	品種	実施場所	畑転換	排水対策	播種期	播種量	条間
			年数	(明渠、暗渠等)	(月/日)	(kg/a)	(cm)
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	20	暗渠	11/8	0.8	30.0
	ミノリムギ	大河原町金ヶ瀬	4	暗渠	11/7	0.8	30.0
仙台	ホワイトファイバー	大和町落合	1	暗渠、明渠	11/3	1.0	30.1
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	1	暗渠	10/19	0.9	14.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10	明渠、暗渠	12/3	1.2	23.1
	夏黄金	涌谷町猪岡短台	1	明渠、暗渠	11/2	1.0	22.5
登米	あおぼの恋	登米市豊里町	17	弾丸暗渠	11/15	1.0	23.0
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	本暗渠、弾丸暗渠、明渠	10/20	1.0	28.5
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	本暗渠、弾丸暗渠、明渠	10/19	1.0	30.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	1	本暗渠、弾丸暗渠、明渠	11/1	1.0	24.3

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表 5 麦類生育調査ほ 生育状況(4 月 10 日現在)

担当普及 センター	品種名	実施場所	播種期 (月/日)	草丈				茎数			幼穂長		
				本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	大河原町金ヶ瀬	11/8	20.3	109	92	1083	166	169	5.5	70	69	
	ミノリムギ	大河原町金ヶ瀬	11/7	25.0	87	115	1023	132	189	10.7	118	167	
仙台	ホワイトファイバー	大和町落合	11/3	24.5	-	-	768	-	-	5.1	-	-	
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/19	20.5	130	108	797	97	81	2.1	119	86	
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	12/3	13.1	89	73	981	465	119	1.4	722	90	
	夏黄金	涌谷町猪岡短台	11/2	20.2	-	-	1311	-	-	2.4	-	-	
登米	あおぼの恋	登米市豊里町	11/15	16.4	88	-	311	37	-	1.3	50	28	
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	10/20	27.8	149	128	1218	281	221	6.3	115	106	
	ミノリムギ	石巻市桃生町	10/19	21.0	138	102	750	436	135	3.9	150	93	
	シラネコムギ	石巻市小船越	11/1	17.7	107	85	946	241	80	1.5	115	63	

注1) 平年値は、過去7か年中、中庸5か年の平均値。

注2) 大和町「ホワイトファイバー」と涌谷町「夏黄金」は、平成30年播種から調査のため、平年値および前年値はない。

注3) 登米市「あおぼの恋」は、平成28年播種からは場変更のため、平年値がない。

<生育状況等に関する担当農業普及センターのコメント>

(注) 普及センターのコメントでは、各地域で観測した値と比較している場合があるため、表5の平年比と一致しない場合がある。

大河原

- ・4月に入り、気温が平年を下回る日が多くなっていることから、草丈や幼穂の伸長に鈍化が見られる。
- ・「シュンライ」は、草丈、幼穂長は平年を下回っているが、茎数は平年を大きく上回っている。
- ・「ミノリムギ」は、草丈は平年を若干下回っているものの、幼穂長は平年よりも伸長し、茎数も平年を上回っている。

仙台

- ・生育は良好で茎数は多く、茎立期を迎えた。
- ・幼穂長から、4月末頃に減数分裂期追肥の実施時期になると予測された。

大崎

- ・平年比は草丈94%、茎数78%と平年より生育が少ない。
- ・幼穂長の平年差は-1.18mmと生育が遅れている。
- ・雑草の発生はほとんど見られなかった。

美里

- ・「シラネコムギ」圃場では、広葉雑草が散見される。
- ・「夏黄金」の分けつは旺盛で、目立つ雑草の発生はない。

登米

- ・ハコベが散見された。

石巻

- ・草丈は「シュンライ」では平年並だが「ミノリムギ」と「シラネコムギ」で平年を下回っている。
- ・茎数は大麦、小麦ともに平年よりも上回っており、特に「シュンライ」では平年比247%となっている。
- ・幼穂長は大麦、小麦とも平年よりも下回っている。